

第5学年 道徳科学習指導案

児童 5年2組 19名
指導者 堤内 賢太

- 1 主題名 「理解し合う心」 B [友情, 信頼]
教材名 心のレンゾーブ (東京書籍「道徳5年 新しいどうとく」P.104-107)

2 主題について

(1) 価値について

本単元における内容項目B「主として人との関わりに関すること」の「友情, 信頼」は「友達と互いに信頼し, 学び合って友情を深め, 異性についても理解しながら, 人間関係を築いていくこと。」をねらいとしている。この内容項目は, 中学校では, 「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち, 互いに励まし合い, 高め合うとともに, 異性についての理解を深め, 悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。」に発展していく。

望ましい人間関係は, 互いに協力し合うことから始まるものであり, 信頼し, 助け合う中から真の友情が生まれていく。相手のことを思い, 理解しようとすることは, よりよい友達関係を築いていくうえではなくてはならないことであることに気付かせるようにしたい。

この時期の児童は, これまで以上に友達を意識し, 仲のよい友達との信頼関係を深めていこうとする。また, 流行などにも敏感になり, 趣味や嗜好を同じくする閉鎖的な仲間集団をつくる傾向も見られる。そのため, 友達関係での悩みをもつことが, 今まで以上に増えるようになる。そこで, 友達同士の相互の信頼の下に, 協力して学び合う活動を通して互いに磨き合い, 高め合うような, 真の友情を育てるとともに, 互いの人格を尊重し合う人間関係を築いていきたいと考え, 本教材を設定した。

(2) 児童について

本学級の児童は, 男子13名女子7名で, 1学期前半には, 休み時間に男女で誘い合って遊ぶ姿が見られており, 良好な関係を築けていた。しかし2学期になると, 誘い合って遊ぶことが少なくなり, 授業中に異性とペアになって活動することを嫌がる児童も出てきた。高学年になり, 少しずつ異性を意識し始めている。これまでの道徳の学習を通して, 相手の気持ちを考えることによさについて考える経験を重ねてきたことで, 徐々に思いやりの心が育ってきている。しかし, 自分の考えや感覚を当たり前のこととして友達と接してしまい, 悪気なく相手を傷つけたり, 互いの思い違いからけんかにも発展したりする場面もたびたび見られる。

今回の授業では, 資料の中の男女の登場人物それぞれの立場になり, 互いの違いを受け入れ, よさに気付き, 目標に向かってまとまっていこうとしたその思いを問う。そして, 男女のよりよい関係づくりのために互いを理解しようとする姿勢を身に付けさせたい。

(3) 指導にあたって

「深める・つかむ」段階では, バレーボールの試合に勝ちたいと強く思っている陽子が, やる気のない直希と良夫の態度に苛立っている気持ちを考えさせる。また, 直希から言われた「良夫さんだって頑張っている」という言葉が引っかかる陽子の気持ちを考えさせることを通して, 相手の気持ちを考え始める陽子の気持ちの変化に気付かせたい。その際, 「心の距離メーター」を用いてネームプレートで児童の考えを可視化し, それをもとに陽子の男子に対する気持ちを語らせたい。そして, 物語を通して陽子が変わった要因を問うことで, 友達と分かり合うには, 互いの違いを認め, よさに気付くことが大切だと気付かせたい。

「見つめる」段階では, 自分のこれまでの友達との関わり方を具体的な場面で振り返り, これからの生活の中で友達との関係づくりで大切にしたいことを考えさせたい。

3 本時の指導

(1) ねらい

男女が互いに理解し合い、よさを認め合いながら人間関係を築いていこうとする心情を育てる。

(2) 研究仮説の具現化に向けた手立て

①自我関与のさせ方の工夫

場面	ねらい	手立て
やる気のない男子に不安を高める陽子	やる気のない男子に対して苛立っている陽子の気持ちに共感させる。	一人ひとりが心の距離メーターを用いて、ネームプレートで心の距離を可視化

②多面的・多角的に考えさせる場のあり方

場	ねらい	手立て
「良夫さんだって、がんばっている」という直希の言葉が心に引っかかる陽子	相手の気持ちを考え始める陽子の気持ちの変化に気付かせる。	<ul style="list-style-type: none"> 心の距離が近づいていく度合を板書で可視化 男子の思いを想像し、板書に残す

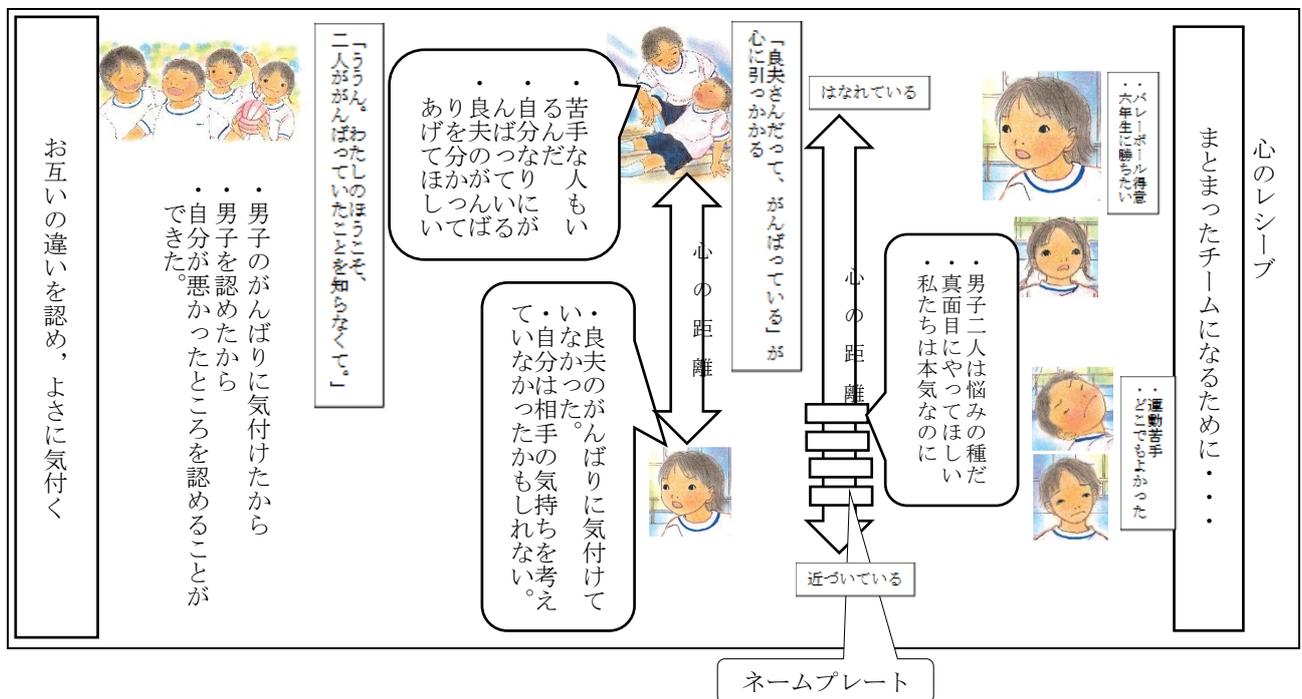
③自分を振り返られる工夫

発問	ねらい	手立て
男女で協力して活動したときのことを思い出して、その時の自分はどんな様子だったか振り返ってみましょう。また、これから大切にしていきたいことを書きましょう。	男女で活動した経験を振り返り、よい関係づくりのためにこれから大切にしていきたいことを考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 全体での意見交流

(3) 展開

		学習内容と主な発問	期待される児童の反応	指導上の留意点 (留意点○評価★)
導入	気づく5分	1 「心のレシーブ」の意味を考えどんな話か想像する。 ○「心のレシーブ」とはどのような意味でしょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・心を受け止める ・心をつなぐ ・気持ちを伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ○レシーブの説明はクラスのバレーを習っている子にしてもらい全体で確認する。 ・題名の意味を考え、物語の内容を想像させる。
展開前段	深める つかむ 30分	<p>2 本時の話し合いの方向性を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">まとまったチームになるために・・・</div> <p>3 「心のレシーブ」を読んで話し合う。</p> <p>(1) 男子のやる気のない態度に不安が高まる陽子の気持ちに共感する。また、陽子が男子の気持ちを考えていないことに気付く。</p> <p>○陽子は、やる気のない直希と良夫に対してどんなことを思ったでしょうか。</p> <p>(2) 陽子の気持ちの変化に気付く</p> <p>◎「良夫さんだって、がんばっている」という言葉が心に引っかかっているのはどうしてでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直希はどんな気持ちでこの言葉を言ったのでしょうか。 <p>○ここまで陽子が変わったのはどうしてでしょう。</p> <p>(3) チームがまとまった要因に気付く。</p> <p>○女子と男子の良さはどんなところでしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男子2人は悩みの種 ・私たちは本気で勝ちたい ・真面目にやってほしい ・良夫の頑張りに気付いていなかった。 ・自分は相手の気持ちを考えていなかったかもしれない。 ・自分なりにがんばっている ・良夫のがんばりを分かかってあげてほしい ・1組の人たちの話を聞き、 ・男子のがんばりに気付いたから ・自分の悪かったところを認めることができたから ・互いのよさに気付いた 女子→真剣に勝ちたい、相手を認めて謝った 男子→しっかり練習に取り組む、女子の思いに付いていた 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材を読む前に簡単に登場人物の人物像を確認する。 ・勝ちたい陽子が、男子に苛立っていることに気付かせる。 ・「心の距離メーター」を用いて、自分の考えをネームプレートで黒板に示す。 〔手立て1〕 ・男子の気持ちにも触れながら、自分勝手だったことに気付き始める陽子の変化を捉えさせる。〔手立て2〕 ★陽子の変化を自分なりに考えて記述している (ワークシート・発表) ・それぞれによさがあり、互いがそれに気付くことができたことを捉えさせる。

<p>展開後段</p>	<p>みつめる 7分</p>	<p>4 自分自身を見つめ、互いの意見を交流する。</p> <p>○今日の学習をどんなところでいかせると思いますか。</p>	<p>・お楽しみ会で何をやるか決めるときに、みんなの意見を聞く。</p>	<p>★これからの生活で生かせそうなことについて考え、記述している。(ワークシート・発表)〔手立て3〕</p>
<p>終末</p>	<p>まとめる 3分</p>	<p>5 まとめる</p> <p>○人それぞれよさがあることを学校生活の具体的な場面を示しながら伝える。</p>	<p>・宿泊学習で協力する様子 ・運動会でがんばる様子。 ・なわとびに取り組む様子。 ・授業中に考える様子。</p>	<p>・宿泊学習での班活動や、運動会の取り組み、普段の授業中の様子などを写真で提示し、児童のよさに気付かせる。</p>





友じょうを深める

23 心のツープ

月	日	組	番	名前

■ へ考えよう① 「良夫さんだって、がんばってる。」という言葉が陽子さんの心に引っかったのはどうしてでしょう。

■ へ考えよう② 友達のよさに気付いたこと(授業中、休み時間、宿泊学習、お楽しみ会などで)はありますか。また、これから友達との関わりで大切にしたいことはなんですか

() のとき

これから

を大切にしていきたい。

■ 学習のふり返り *当てはまる☺に色をぬりましょう。

よく考えた。



別の考えに気づいた。



自分をふり返った。



〈教材分析図〉

1 教材名 心のレシーブ (東京書籍)

2 ねらい 友達と互いに理解し合い、よさを認め合いながら人間関係を築いていこうとする心情を育てる。

